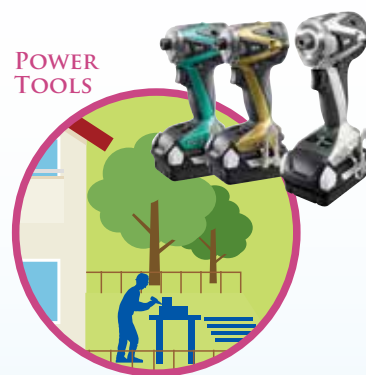


RYOBI

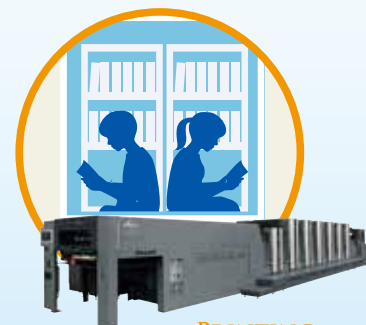
株主のみなさまへ

第106期中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで



BUILDERS'
HARDWARE

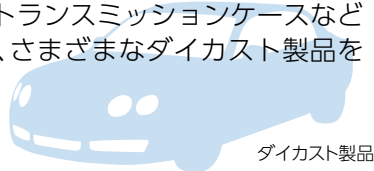


PRINTING
EQUIPMENT



ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまなダイカスト製品を提供しています。



● 主なダイカスト製品

シリンダーブロック、トランスミッションケース、車体フレーム等の自動車・二輪車用部品

パワーツール事業

本格的な住まいづくりからDIY、美しい庭づくりまでプロユーザーや一般のお客様など、幅広い人に愛されるリョービのパワーツール。使う人を考えて、あらゆる「快適」を生み出しています。

充電式刈払機 [BK-1800]



● 主な商品

ドリル、丸ノコ、グラインダー、芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、クリーナー等

建築用品事業

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。

ドアクローザ [ジオプロ GD-4PV]



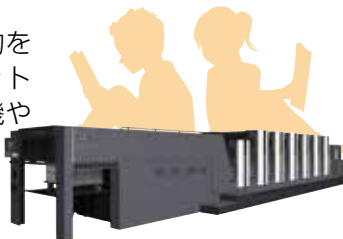
● 主な商品

- ・ ドアクローザ
- ・ ヒンジ
- ・ 建築金物等

印刷機器事業

カタログ、ポスター、パッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。世界中のお客様に独創的で高品質な印刷機やサービスを提供しています。

菊全判オフセット印刷機 [RMGT 10]



● 主な商品

- ・ オフセット印刷機
- ・ 印刷周辺機器等



技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第106期(2018年3月期)中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化を図りながら、業績に応じた配当を継続することを基本にしております。当期(第106期)の配当につきましては、2017年10月1日に株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施したことにより、中間配当金は1株当たり5円、期末配当金は1株当たり25円(株式併合を考慮しない場合は1株当たり5円)を予定しています。支払開始日は11月28日といたします。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末長くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2017年11月

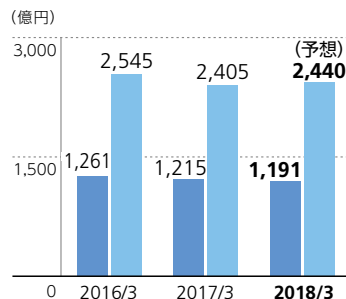
代表取締役社長

浦上 彰

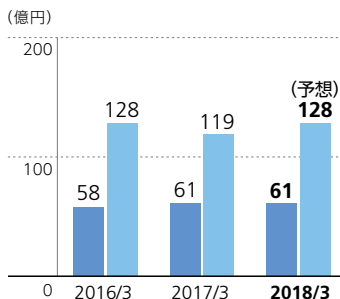
第2四半期連結決算の要点解説

■ 第2四半期累計
■ 通 期

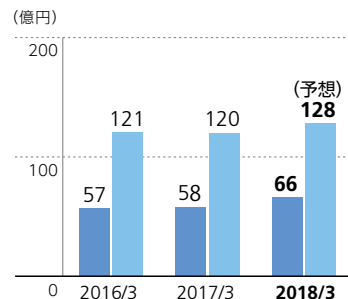
売上高



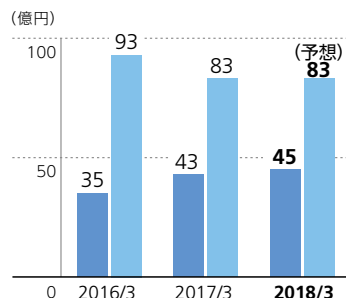
営業利益



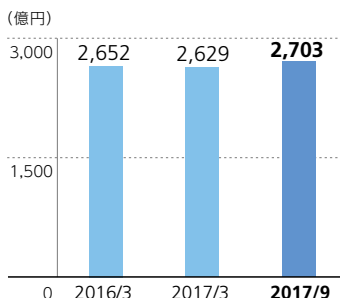
経常利益



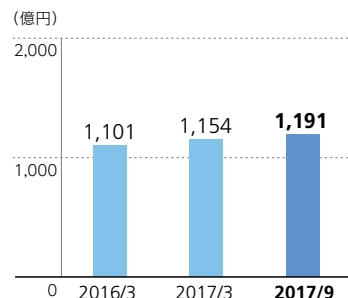
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



業績推移

科目	第2四半期累計			通 期		
	2015/9	2016/9	2017/9	2016/3	2017/3	2018/3(予想)
売上高 (百万円)	126,117	121,491	119,148	254,508	240,502	244,000
営業利益 (百万円)	5,760	6,149	6,101	12,832	11,875	12,800
経常利益 (百万円)	5,694	5,775	6,563	12,132	12,013	12,800
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	3,501	4,319	4,503	9,305	8,348	8,300
1株当たり当期純利益 (円)※	108.16	133.45	139.13	287.47	257.90	256.41
総資産 (百万円)	271,360	243,042	270,348	265,197	262,869	—
純資産 (百万円)	111,142	104,488	119,147	110,107	115,428	—

※ 2016年3月期の期首に株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算出しています。

売上高・利益の状況

当第2四半期累計期間(2017年4月1日から同年9月30日まで)の日本経済は、企業収益や雇用の改善、個人消費の持ち直しなどで緩やかな回復が続きました。海外については、米国で着実な景気回復がみられたとともに、欧州においても緩やかな回復が続きました。また、中国においても、政府の経済政策の効果などで景気の持ち直しの動きがみられました。

資産・負債等の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前期末に比べ74億78百万円増加し、2,703億48百万円となりました。増加は主に現金及び預金44億38百万円、たな卸資産19億8百万円、投資有価証券14億21百万円等によるものです。

負債は、前期末に比べ37億60百万円増加し、1,512億円となりました。増加は主に支払手形及び買掛金25億32百万円、社債15億円等によるものです。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、754億65百万円となりました。

純資産は、前期末に比べ37億18百万円増加し、1,191

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進めるとともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高と営業利益は前年同期に比べて減少しましたが、経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

億47百万円となりました。増加は主に利益剰余金36億94百万円、その他有価証券評価差額金10億11百万円等によるものです。その一方で、減少は為替換算調整勘定12億64百万円等がありました。なお、自己株式の消却を行った結果、資本剰余金と自己株式がそれぞれ19億92百万円減少していますが、純資産合計に与える影響はありません。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前期末に比べ34億44百万円増加し、1,116億54百万円となりました。その結果、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント増加し、41.3%となりました。

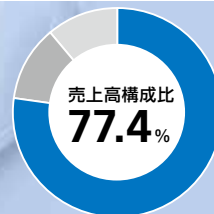
通期の見通し

通期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の業績は、前期に比べて増収、営業利益と経常利益は増益、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となる見通しです。

売上高は2,440億円(前年同期比1.5%増加)、営業利益は128億円(同7.8%増加)、経常利益は128億円(同6.5%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は83億円(同0.6%減少)を見込んでいます。



ダイカスト事業 DIE CASTINGS



当第2四半期累計の業績

売上高は921億92百万円(前年同期比2.7%減少)、営業利益は44億91百万円(同13.3%減少)となり、前年同期に比べて減収、減益となりました。

売上高については、国内と中国は受注が堅調に推移し増収となりましたが、米国と英国の減少をカバーできず、全体で減収となりました。利益については、米国での減益による影響で減益となりました。

軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の環境面からも注目されています。特に、軽量化により低燃費を目指す自動車においては、さまざまな部品へのアルミダイカスト製品の採用が進み、数多くの部品に当社製品が採用されています。近年はハイブリッド車や電気自動車向けのダイカスト製品の採用も増えています。

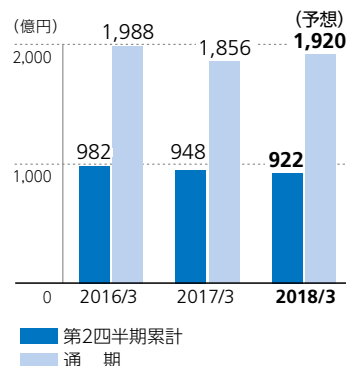
ダイカスト製品の採用例

トヨタ自動車株式会社様ランドクルーザープラドの「オイルパン」に当社のアルミダイカスト製品が採用され、2017年8月より納品を開始しています。「オイルパン」はシリンダーブロックの下部に取り付けられ、エンジンオイルの貯留や冷却の役割を果たしています。当社は、開発段階からさまざまな解析技術を用いて形状を提案し、自動車の軽量化に貢献しています。

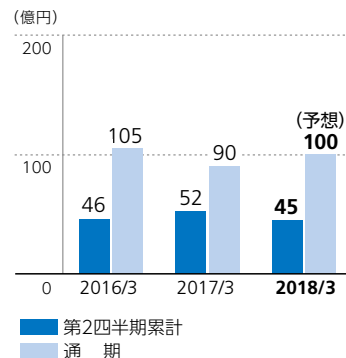


直列4気筒 2.8L エンジン用オイルパン (ランドクルーザープラドへ搭載)

売上高

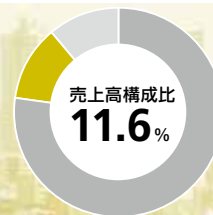


営業利益



住建機器事業

POWER TOOLS
BUILDERS' HARDWARE



当第2四半期累計の業績

売上高は138億4百万円(前年同期比3.3%増加)、営業利益は10億41百万円(同62.3%増加)となり、前年同期に比べて増収、増益となりました。パワーツール事業は、国内は苦戦しましたが、南アフリカ等への輸出の増加で売上高は増加しました。建築用品事業は、国内、輸出ともに売上高は増加しました。利益については、前年同期と比べて中国元安に推移した結果、パワーツール事業、建築用品事業ともに売上高原価率が低下し増益となりました。

パワーツール事業



■ 充電式刈払機「BK-1800」

充電式刈払機「BK-1800」は、2016年2月発売以来、好調な販売を続けている商品です。

コンパクトなボディに高出力のモーターを採用しており、家の庭や小さな菜園などの草刈りに最適。静かな動作音で場所や時間を気にすることなく作業ができます。伸縮可能なメインパイプは、作業姿勢に合わせて長さを調節できます。



充電式刈払機「BK-1800」

建築用品事業



■ 取替用ドアクローザ「スタンダード型(S-202/S-203)」

「取替用ドアクローザ」は、古いドアクローザが取り付けられていたネジ穴をそのまま使うことができる設計になっています。穴あけ作業が不要なため、取り替えが簡単に行えると評価されています。1998年に発売した「パラレル型」は、主に住宅の玄関ドア向けでしたが、今年9月にオフィスビルなどのドアに対応できる「スタンダード型」をラインアップに追加しました。

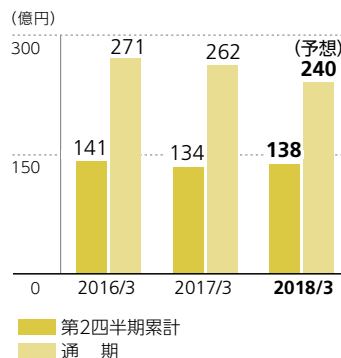


「取替用ドアクローザ (S-202)」

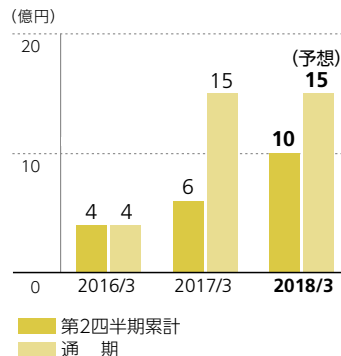


スライド取付板

売上高

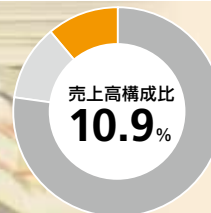


営業利益





印刷機器事業 PRINTING EQUIPMENT



当第2四半期累計の業績

売上高は130億1百万円(前年同期比1.5%減少)、営業利益は5億26百万円(同80.8%増加)で、前年同期に比べて減収、増益となりました。

国内は大型印刷機の受注が増え売上高は増加しました。海外については、欧米向けの輸出は増加しましたが、中国を含むアジア向けの減少が大きく、全体で減収となりました。利益については、原価低減や経費削減の効果、販促費用の減少などで増益となりました。

■ オペレーターの快適な作業を支援する「プレスインフォメーションディスプレイ」

印刷機の状態をリアルタイムに把握し、オペレーターの快適な作業を支援する「プレスインフォメーションディスプレイ」を搭載した印刷機[※]は、発売以来、多くのお客様に導入いただいています。「プレスインフォメーションディスプレイ」は55インチサイズの大画面モニターで、印刷機の主要制御を排紙部で行うオペレーションスタンドに、通常の17インチサイズモニターに加えて搭載できます。カメラで撮影した用紙搬送の状態を、排紙部にいながら大画面で確認することができます。また、印刷の進捗状況、絵柄や濃度の測定結果、安全装置の作動状況などが拡大表示されるため、視認性が向上しオペレーション作業が快適に行えます。無線のタブレット端末も付属しています。

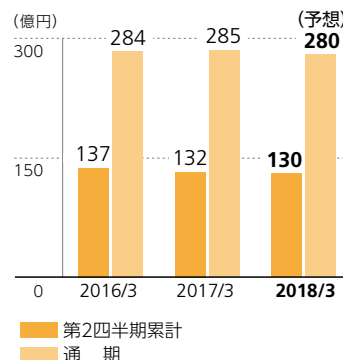
※A全判サイズ以上の印刷機に対応



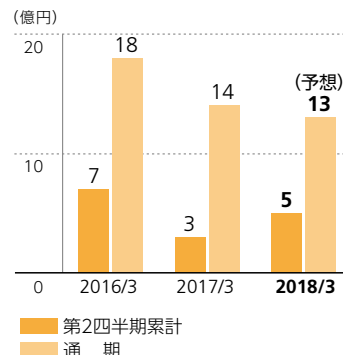
「プレスインフォメーションディスプレイ」を搭載したオペレーションスタンド



売上高



営業利益



第2四半期連結財務諸表

貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	132,607	126,665
現金及び預金	21,841	17,402
受取手形及び売掛金	57,558	57,530
有価証券	1,070	1,075
たな卸資産	47,332	45,424
その他	4,866	5,293
貸倒引当金	△ 61	△ 61
固定資産	137,657	136,118
有形固定資産	111,333	111,432
建物及び構築物	30,214	30,731
機械装置及び運搬具	46,925	46,597
土地	21,532	21,922
建設仮勘定	8,575	8,622
その他	4,086	3,559
無形固定資産	3,126	3,009
投資その他の資産	23,196	21,676
投資有価証券	16,485	15,063
その他	6,778	6,680
貸倒引当金	△ 67	△ 67
繰延資産	83	86
資産合計	270,348	262,869

科目	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	前期末 (2017年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	106,090	109,518
支払手形及び買掛金	41,051	38,519
短期借入金	39,014	34,293
1年内返済予定の長期借入金	6,144	15,949
未払法人税等	846	862
賞与引当金	2,045	2,012
役員賞与引当金	—	60
その他	16,986	17,821
固定負債	45,110	37,922
社債	8,400	6,900
長期借入金	21,906	17,018
退職給付に係る負債	8,868	8,810
その他	5,936	5,192
負債合計	151,200	147,440
純資産の部		
株主資本	105,891	102,196
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	21,786	23,776
利益剰余金	65,978	62,283
自己株式	△ 344	△ 2,336
その他の包括利益累計額	5,762	6,014
その他有価証券評価差額金	7,563	6,551
土地再評価差額金	737	737
為替換算調整勘定	△ 745	518
退職給付に係る調整累計額	△ 1,792	△ 1,793
非支配株主持分	7,493	7,218
純資産合計	119,147	115,428
負債純資産合計	270,348	262,869

損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	前第2四半期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
売上高	119,148	121,491
売上原価	100,270	102,282
売上総利益	18,877	19,209
販売費及び一般管理費	12,776	13,060
営業利益	6,101	6,149
営業外収益	1,303	1,137
営業外費用	841	1,511
支払利息	577	752
その他	263	758
経常利益	6,563	5,775
特別利益	42	312
特別損失	106	97
税金等調整前四半期純利益	6,499	5,989
法人税等	1,698	1,391
四半期純利益	4,801	4,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	297	278
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,503	4,319

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	前第2四半期 (2016年4月1日から 2016年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	11,767	12,223
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 8,111	△ 8,785
財務活動による キャッシュ・フロー	987	△ 4,803
現金及び現金同等物の 四半期末残高	20,764	17,847

NEWS

パワーツール事業の 京セラ株式会社への譲渡に関するお知らせ

当社は京セラ株式会社へのパワーツール事業譲渡に関して2017年9月29日に基本合意を発表しました。合意を受けて2017年10月31日にパワーツール事業に関連する新設分割計画の決議と新設会社株式の一部譲渡に関する株式譲渡契約を締結しました。

■ 新設会社について

- 名称：京セラインダストリアルツールズ株式会社
所在地：広島県府中市目崎町762番地
資本金：100百万円
設立年月日：2018年1月5日(予定)
社員数：約1,500名(子会社を含む)
譲渡後の株式所有割合：
・ 京セラ株式会社 80%
・ リョービ株式会社 20%

※ 当社のパワーツール事業と当社保有のリョービ販売株式会社発行済株式の全部、また利優比(大連)機器有限公司の出資持分の66.6%が、新設会社に承継されます。

決算期の変更に関するお知らせ

当社は、2018年6月下旬に開催予定の第106回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件に、決算期の変更を行うことを決議しました。決算期変更の経過期間となる第107期は、2018年4月1日から12月31日までの9カ月決算となります。また、現在、決算期が12月31日以外の連結子会社についても、同様の変更を行う予定です。

■ 決算期変更の内容

- 現在：毎年3月31日
変更後：毎年12月31日

株式の概要 / 会社の概要 / 役員 (2017年9月30日現在)

株式の概要

発行可能株式総数 500,000千株 (100,000千株)

発行済株式の総数 163,230千株 (32,646千株)

株主数 7,365名

(注) () 内は、2017年10月1日付で実施した単元株式数の変更、および株式併合後の数値です。

株式分布状況 <所有者別>合計7,365名 / 163,230千株



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
菱工会持株会	8,583	5.30
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,283	4.49
日本生命保険相互会社	6,240	3.85
公益財団法人浦上奨学会	5,700	3.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,359	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,741	2.31
三井住友信託銀行株式会社	3,503	2.16

(注) 持株比率は、自己株式1,383千株を控除して計算しております。

会社の概要

社名 リョービ株式会社
 創立年月日 1943年12月16日
 資本金 184億72百万円
 社員数 1,772名

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
 リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所
 生野株式会社
 RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
 RDCM, S. DE R.L. DE C.V.
 RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED
 利優比压铸(大連)有限公司
 利優比压铸(常州)有限公司
 RYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.
 利佑比(上海)商貿有限公司

●住建機器事業

リョービ販売株式会社
 利優比(大連)机器有限公司

●印刷機器事業

リョービMHIグラフィック
 テクノロジー株式会社

役員

取締役	
代表取締役	浦上 彰
取締役	横山 隆志
取締役	鈴木 健二郎
取締役*	大岡 哲
取締役*	川口 裕幸
取締役*	山本 裕二
取締役	鈴木 隆
取締役	望月 達由
取締役*	伊香賀 正彦

※印は社外取締役です。

監査役	
常勤監査役	小林 照三
監査役*	荒井 洋一
監査役*	畑川 高志

※印は社外監査役です。

執行役員		
社長	浦上 彰	
常務執行役員	横山 隆志	
執行役員	鈴木 健二郎	
執行役員	川口 裕幸	
執行役員	鈴木 隆	
執行役員	望月 達由	
執行役員	滝埜 義巳	
執行役員	栢野 隆史	
執行役員	坂本 禎造	
執行役員	浦邊 寛	

「暮らしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行でお受けしますので、左記の連絡先にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762
TEL (0847) 41-1111
東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
TEL (03) 3927-5541
<http://www.ryobi-group.co.jp/>

無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。